

市議会だより

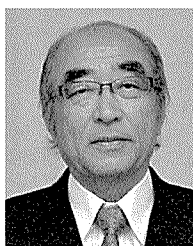
2012.11.1
No.3



第20回KAYAGINIまつり



議長 水口典一



副議長 田村 勇

「市民の皆様こんにちは」

市議会だより第3号を発行しました。

第3回定例会は9月6日から21日までの間、第1・第2決算審査特別委員会の開催、一般質問と続き鋭い質疑、質問がなされました。

今市議会定例会には、福寿大学の皆さんほか、延べ170名を越す方々が傍聴されました。

政情混々としておりますが、市民の皆さんと一丸となって滝川市を「より住みよい安心安全な街に」の思いは同感であります。

市政に反映すべき皆様のご意見やご要望をぜひ18名の議員にお伝えください。

なお、議長・副議長は議会運営上一般質問を控えさせていただきます。

●目次●

主な議案のあらまし	2
一般質問	3～8
決算審査特別委員会	9
総務文教常任委員会だより	10
議決結果	11
議会日誌・編集後記	12

議会開会中

第3回定例会

主な議案のあらまし

平成24年第3回定例会は、9月6日から21日までの16日間の日程で開きました。

本定例会では、市長から平成23年度の「決算大綱説明」を行ったほか、市政について12人の議員が一般質問を行いました。また、平成23年度決算については、第1、第2決算審査特別委員会を設置し、審査を行いました。

議決した主な内容についてお知らせします。

◎平成23年度各会計決算

各会計の決算審査は、決算審査特別委員会において慎重な審査が行われました。各会計の決算額は一般会計220億1,074万円に対し、歳出215億9,789万円、歳入53億4,705万円に対し、歳出53億4,177万円、差し引き528万円、公営住宅事業特

別会計では、歳入6億4,515万円に対し、歳出6億3,540万円、差し引き975万円、介護保険特別会計では、保険事業勘定で、歳入31億1,125万円に

対し、歳出31億1,070万円、差し引き55万円、介護サービス事業勘定では、歳入15億2,729万円に対し、歳出14億2,971万円、差し引き9,758万円、後期高齢者医療特別会計では、歳入4億8,471万円に対し、歳出4億8,141万円、差し引き330万円の剰余を生じました。

下水道事業会計の収益的収支では、事業収益10億5,714万円に対し、事業費用10億2,259万円、3,455万円の純利益、資本的収支では、収入10億1,695万円に対し、支出14億9,7

63万円で、差し引き不足額4億8,068万円となり、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、引継金、過年度分損益勘定留保資金、減債積立金、当年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

病院事業会計の収益的収支では、事業収益63億7,169万円に対し、事業費用72億8,078万円で、9億909万円の純損失、資本的収支では、収入6億6,618万円に対し、支出10億979万円で、差し引き不足額3億4,361万円となり、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

◎平成24年度補正予算

一般会計で4,731万5千円を増額補正し、総額203億5,095万7千円となりました。

補正予算に計上された主な事業費は、予防接種法の改正に伴う不活化ポリオワクチン予防接種を実施する経費667万5千円、滝川駅前広場の整備に向けて行う滝川駅前広場都市計画区域測量業務及び滝川駅前広場ほか実施測量業務

の経費181万円、文化庁の地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ事業補助金を活用して各種文化芸術事業を行うことに伴う、たきかわ文化芸術推進事業負担金を拠出するための経費574万1千円などです。

介護保険特別会計で253万2千円を増額補正し、総額48億867万円となりました。

◎条例の改正

次の条例を原案のとおり可決しました。

○滝川市こども発達支援センター

条例の一部を改正する条例

○滝川市防災会議条例及び滝川

市災害対策本部条例の一部を改正する条例

◎そのほか可決された議案

○電子情報処理組織による戸籍等事務に関する事務の受託についてほか11件

◎認定

○平成23年度滝川市一般会計歳入歳出決算の認定についてほか6件

◎意見書を関係機関に送付

○中小企業の成長支援策の拡充を求める要望意見書ほか4件

第3回例会
一般質問から



市民クラブ
大谷久美子
議員

冬期間の交通網確保について

質問 ダンプの数が減少している
と聞いているが、今年度の見通し
と対策はどのようになっているの
か。また、家庭用融雪槽の助成が
今年度までとのことだが、この3
年間でどの位の利用があったのか。
助成を延長すべきではないか。

答弁 公共事業の削減や、長引く
経済の低迷により、ダンプの確保
は困難な状況にあります。滝川地
区運送事業協同組合で調達して、
必要な台数を2セット分確保して
います。さらに不況が長引けば、
除排雪に影響があることを懸念し
ています。道路拡幅作業や排雪作
業を早めに行い、市民生活に支障
のないよう道路交通の確保に努め
たい。融雪槽は地域活性化経済危
機対策臨時交付金事業をきっかけ
とした助成制度で3年間で78件の

利用がありました。財源を考え、
検討します。

在宅生活の支援について

質問 「介護用品支給事業」「リフ
ト付きタクシー等助成事業」が実
施されているが利用状況は。介護
度5〜4以上から介護度3までの
拡大見通しはあるか。

答弁 現在の申込者は「介護用品」
が27人、「リフト付きタクシー」が
20人で当初の見込みどおりの数で
すが、今年度の利用実績や、利用
者の意見を参考に、財源のことも
考えて判断していきます。

滝の川公園のトイレについて

質問 公園に洋式トイレがなく、
体育センターまで行かなければな
らない。高齢者には大変不便です。
改善の考えはあるか。国道側のト
イレは、長期間閉鎖されているが、
使用できる見通しはどうか。

答弁 周囲の樹木が多いため、暗
く、隣接のひょうたん池が小さい
子に危険であり防犯上閉鎖しまし
たが、洋式トイレは必要と考えてい
ます。環境を良くして全体が安全な
公園となるよう整備していきます。



新政会
渡邊 龍之
議員

食と農のネットワーク形成につ
いて

質問 食と農のネットワーク形成
について、地域資源の活用を含め
てどのように考えているか伺う。

答弁 食と農が結びつき、地域資
源である農産物に新たな付加価値
を生み出すことは、農業所得の向
上や雇用の創出等が期待されます。
6次産業化への機運の醸成を図り、
農家における取り組みを積極的に
支援してまいります。

自然エネルギーと省エネルギー
への取り組みについて

質問 地場産業育成の観点から、
雪の利用や太陽光、風力などを活
用した自然エネルギーや省エネル
ギーに対する取り組みについて、
市として目指す方向性を伺う。

答弁 地域レベルでの再生可能エ
ネルギー等の導入を産業振興策の
一環と位置付け、事業展開の可能
性について情報収集・事業提案に

努めてまいります。

スポーツと観光のマッチングに
ついて

質問 市では、各種スポーツ競技
の全道大会がよく開催されるが、
市内を訪れる参加者をどう観光に
結びつけるか、創意工夫が必要と
考える。

スポーツと観光のマッチングに
ついて、どのような対策を考えて
いるのか伺う。

答弁 交通の利便性を生かし、各
種競技の全道大会を積極的に誘致
し、体育協会・市がバックアップ
する形で開催しています。観光協
会においても市内観光マップの作
成に取り組むなか、関係事業者と
連携を深め、対応に努めてまいり
ます。



▲滝川観光ガイド



新政会
関藤 龍也
議員

いじめ問題について

質問 7月にいじめに関する実態調査が公表されたが、市が公表している数値と大きな乖離があるが、その実態と教育委員会の対応策を伺う。また、近隣市町村との広域連携による教育委員会の情報交換組織を立ち上げるべきと考えるが、見解を伺う。

答弁 教育委員会として数値というより、目の前の子ども一人ひとりと向き合うことが大切です。いじめに対する対応策として、道徳教育への取り組み、子ども一人ひとりの見守りと教員のレベルアップが必要だと思います。また、いじめに対する取り組みの市町間の交流ということはあっても良いのかと思うので中空知の教育長会議の中でも話題にしたいと考えます。

学力テストの結果と学力向上について

質問 全国学力調査の結果、北海

道は低迷を続けているが、学力向上のためにどのような指導、教育改革が必要と思われるか伺う。

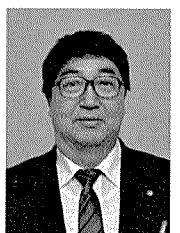
答弁 当市では、国・道教委の施策に先駆けて35人学級の拡充に努めていますし、学びサポーターの活用により指導を充実させています。また、学校支援地域本部事業の中で、地域の方に放課後学習の支援をしていただいています。

質問 民間教育機関への依存度と学力の関係についてどう考えるか。また、市の実態調査は行われているのか伺う。

答弁 民間教育機関と学力の関係等についての実態調査は当市では行っていない。しかし、平成25年度全国学力・学習状況調査の中で、民間教育機関の実態、家庭経済状況と学力の関係について詳細な調査が行われる予定です。



▲授業の様子(写真と質問内容は関係ありません。)



市民の声連合
渡辺 精郎
議員

スマイルビルの「無償譲渡」と「差し押さえ」について

質問 スマイルビルの差し押さえの段階について質問したい。無償譲渡と同様に、公売で売れ残り、もし市が入手することになれば、新店舗を呼び、フリマや自由バザー等で賑わいをつくるべき。

答弁 差し押さえについては個別事案のためお答えできません。無償譲渡に至った場合には市民、商店街、市民団体等の関係者と十分調整し最善策を講じてまいります。

生活保護の諸問題について

質問 わずかな年金で病気がちなためお金が必要。年金はいらないから生活保護を受けたいという60歳代の一人暮らしの女性が訴えている。どう対応するのか。

答弁 活用可能な医療制度の助言をし、なお生活が困窮するのとこととであれば適切に対応します。

東町公営住宅と緑町公営住宅のあり方について

質問 東町の建て替え公住の一棟目が建築開始された。隣の緑町団地では退去後は窓や入口を塞いでいる。緑町公住の計画はどうか。

答弁 緑町公住の建て替えは平成28年度以降の予定です。

いじめ自殺の全国的情勢と滝川市の学校での対応について

質問 いじめ自殺が再び全国的な社会問題となっている。いじめた状況により刑事事件となり得ること、中学校へ警察が入ったことも特徴である。今、当市の学校での取り組みはどうか。

また、江部乙小のいじめ自殺事件の訴訟和解の折に道教委が全道の学校に配付した「いじめ自殺がおきないための願い」の遺族からの文書を再び当市の学校に配付してはどうか。

答弁 「いじめのない学校」が滝川の風土となるように早期発見、早期対応に努めております。遺族からの願いの文書は9月5日に配付いたしました。



市民クラブ
柴田 文男
議員

行政課題の解決について

質問 市長就任から1年半。折り返しまで半年。折り返しに向けた市長の決意を問う。

答弁 今後のあらゆる行政課題は広域的視点を持ちつつ対応すべき。広域連携を進め、最少の費用で最大の効果を求めます。地域産業の活性化が急務なことから、地場企業の強化支援はもとより、道外事業者と地場企業のビジネスマッチングを推進したい。また、観光戦略では、アジア圏域を含めた外客誘致に力を注ぐ。今年度から就学前の乳幼児等医療費などの無料化を実施しましたが、さらに少子化対策に力を注ぎ、子どもたちの養育環境の充実を図りたい。ほかにも喫緊の課題があるが、先送りすることなく全力で取り組みます。

防災対策について

質問 近年、災害対策本部の開催がないと聞く。防災体制を機能さ

せるための具体的な対応を尋ねる。

答弁 議員指摘の災害対策本部の訓練については十分なものとは考えていないので、応急対策を中心とした「図上訓練」を11月に実施したい。この訓練は陸上自衛隊第10普通科連隊などの関係機関の協力により、災害時に起こりうる条件に対する判断や対応を求めるもので、より実践的な訓練。今後3年間実施し、検証を重ね、防災体制の強化につなげたいと思います。

電気料値上げに伴う対応について

質問 北海道電力が値上げの動きとの報道だが、町内会は街路灯などの電気代上昇を危惧している。市としての今後の街路灯LED化などの対策について尋ねる。

答弁 北海道電力では具体的な検討は行っていないとのことだが、街路灯のLED化については、器具等の設置費用を含め、最短5年程度で投資効果が表れると見込まれ、現在の「街路灯補助金交付規則」にLED灯に対する補助規定を盛り込むよう手続きを行い、本年9月から補助対象とします。



公明党
三上 裕久
議員

定住自立圏を目指すにあたり課題と本市の役割について

質問 定住自立圏を目指すにあたり、中空知の5市5町が一つも漏れなく参加していただくことが必要だと考える。その意味で、関係市町にどのように理解してもらうのか。また、そのための本市の役割について伺う。

答弁 じっくり、急がず、中空知の関係市町の共通理解の中で進められるよう努めてまいります。この地域は、広域連携の歴史があり、今後もこの地域の発展のために関係市町との連携をしてまいります。

JR滝川駅舎建て替えについての見解について

質問 先頃、駅前広場の見直しが発表されたが、駅前広場の見直しを含む一体的な駅舎の建て替えについて、いつ頃を目途とされているのかを伺う。

答弁 今は、そのような考えはありませんが、市民や議会等の建て替え気運が盛り上がりがあれば考えてみたいと思います。



▲JR滝川駅

避難場所となる小中学校施設のLPガスの設置について

質問 都市ガスは、地震等の災害時に配管が寸断されガスを供給できなくなるといふ恐れがあるが、避難場所となる施設について、LPガスの設置でそのような事態を回避できるようにすべきと考えるが見解を伺う。

答弁 LPガス供給システムについては、今後対応できるかどうか、システムの内容等も含めて勉強させていただきたいと思います。



公明党
堀 重雄
議員

出張旅費について

質問 新聞報道されている公費二重取りが問題になっているが、市の現状はどうか伺う。

また、実費制を導入すべきではないか。

答弁 当市の札幌出張は、距離も近く、交通の便も良いことから、原則日帰りとなっております。

また、実費制に関しては「市民に信頼される市役所づくり」のためにも、民間の現状を調査し検討いたします。

年金生活者の現況について

質問 年金生活で収入80万円以下の単身世帯の数を伺う。

また、介護保険料の値上げ、灯油価格の値上がりが負担になっているが、市の取り組みについて伺う。

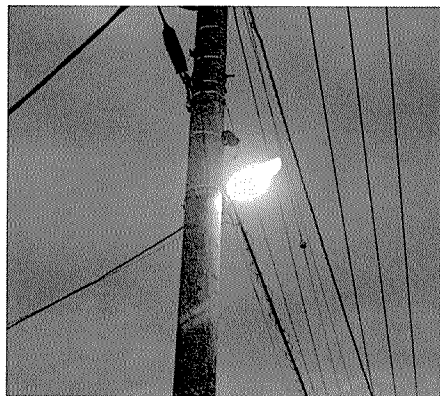
答弁 65歳以上の単身世帯は、約1,900世帯（滝川市の世帯約21,000世帯中）です。

平成19年度、20年度に福祉灯油事業を実施しています。今後においても灯油価格の動向を見ながら、道の補助金などの財源確保を鑑み検討いたします。

防犯灯について

質問 今年度からLED灯への切り替えについても補助対象になり大変評価している。来年度、町内の水銀灯からの切り替え申請状況はどうか伺う。

答弁 9月19日現在で44町内477灯の申請があり、LED灯に関する申請は28町内307灯。費用対効果の面からもLED灯への切り替えを早期に実施したいと考えております。また、予算の確保にも努めたいと考えています。



▲LED街路灯



市民クラブ
木下八重子
議員

市役所改革について

質問 市役所改革に取り組んでいると思うが、今の時点でどのような改革を進めてきたのかを伺う。

答弁 職員にはスピード感、経営感覚など意識改革を促すよう取り組みしており、具体例として、民間企業研修を行ってきました。

男女共同参画推進について

質問 計画策定検討会議のメンバー、これまでの会議開催状況等について伺う。

答弁 メンバーについては、商工会議所女性会、民生委員児童委員連合協議会、人権擁護委員、滝川市校長会、JAたきかわ女性部、男女共同参画推進協議会、市役所内関係所管等14名をもって構成しました。これまでに2回の会議を開催。今後は、10月にアンケートの集計をし、各団体の意見を参考に年度内の策定を予定しています。

丸加高原健康の郷について

質問 今後どのように施設利用者を増やしていくのか。すばらしい景観を多くの人たちにどのように提供するのか、ターゲットをどこに絞っていくのか、また花観光についての考えを伺う。

答弁 丸加高原健康の郷を考える市民懇談会で市民の皆さまのご意見をいただいているところで、10月には市の考え方を明らかにしたいと考えております。地域資源を活用し来訪者を満足させるソフト的な取り組みを継続して行くことが大事なことです。

花観光についても、来年度以降の対応を検討してまいりたいと考えております。

耳鼻咽喉科の診療について

質問 予約制がとられていない理由について伺う。

答弁 急な発症の患者様の割合が多く、待ち時間も30分程度であることから、予約診療を行っていません。固定医と出張医の関係もあることから今後の検討課題にしたいと考えております。



市民クラブ
荒木 文一
議員

次年度職員採用と社会人枠採用について

質問 タッグ計画時の職員数（353名）と現在の職員数（342名）のかい離について、どう考えているのか。また、年齢構成の歪みを解消できる社会人枠採用のあり方を伺う。

答弁 業務量から350人は必要と考えており、その達成に向けて努力します。社会人枠採用については、多様な幅広い人材確保を目的に、求める具体像を示し「チャレンジ枠」としています。総合計画を勘案した業務量に基づく職員配置に努力したいと思います。

コンパクトシティについて

質問 コンパクトシティ形成を後押しするため、郊外の福祉施設の移転、中心部への共同住宅の建設などへの、市町村財政支援制度についての報道があったが、詳細について伺う。

答弁 平成25年度概算要求に盛り込まれ、年度内施行を検討していると聞いています。詳細は示されていませんが、例えば所有者の所得税を軽減するなど、市の認定制度を活用することを想定していること、地方のコンパクトシティ形成に向けた民間投資を促すための国の政策と認識しています。



▲市営住宅駅前団地

地方交付税先送りの影響について

質問 特例公債法案が未成立となっているために地方自治体への地方交付税配分が先送りされていることについて、本市への配分は満額となったのか。また、道の補助事業に関わる影響や、仮に金融機関からの借入が発生した場合の利子負担はどうなるのか。

答弁 9月10日に満額支給となりました。補助金関係の影響は想定していません。また、市が緊急借入した場合の利子負担は、当然国が負うものと認識しています。



市民クラブ
窪之内美知代
議員

「新滝川市活力再生プラン」の結果評価と市民へのメッセージ

質問 「改革と改善」「再生戦略」を両輪として進めてきた再生プランの結果をどう評価しているか。

答弁 104項目の改善に取り組み、収支改善分で8億1,701万円の効果となった。（達成率79・3％）再生戦略では白鵬米のブランド化、延長保育の拡大、学校改築事業、新病院のグランドオープン等、着実に前進したと評価している。市民と行政がタッグを組み、一丸となって取り組むことができ、心から感謝申し上げたい。

（株）滝川グリーンズ（ふれ愛の里）への市の支援

質問 市が依頼した「滝川グリーンズの経営状況報告書」に基づく検討事項や提案事項の柱は。

答弁 レストランのレイアウトなど3項目については行政が中心となり、営業時間の短縮など5項目

については滝川グリーンズが中心となって検討を行い、可能なものから取り組みます。

質問 行政負担が過度と判断する基準や時期についての考え方。

答弁 特別な事情を除き、赤字経営が見込まれ、現状の行政負担を上回る状況になった時点。

社会福祉事業団への緑寿園ほか13施設譲渡へ向けた取り組み

質問 市が築いてきた貴重な施設であり、事業団の施策の方向性や事業展開に市が関与できるような役員体制を求めるべき。こうした意向が聞き入れられない場合、方針変更も検討すべき。

答弁 市の考え方が着実に引き継げる体制を築いてもらうことが重要。その中心は理事会。役員改選に向け話し合う。歩みを進める中でいろいろな選択肢もあるが、慎重な判断が必要。市民・議会の理解が得られる形で進めていきます。

質問 あい גם 解体施設の購入について事前相談はあったのか。

答弁 現施設の老朽化や土地購入等の相談は受けてきたが、赤平の施設購入について事前相談はない。



新政会
小野 保之
議員

生活保護費受給者の医療費について

質問 当市の生活保護費の医療扶助費が全体の62%と突出している。医療費の不正監視のためのレセプト点検はされているのか。また、ジェネリック医薬品の促進はしているのか伺う。

答弁 当市の全受給者の9割弱の方が医療費補助を受けています。電子レセプトシステムを導入して資格や内容審査等のレセプト点検の強化や重複受診の抑制等、適正な支出を行うよう取り組んでいます。ジェネリック医薬品の促進については、効能等を説明し利用促進に努めてまいります。

中学校の柔道の授業について

質問 武道必修化で2学期から柔道の授業が始まったが、複数指導体制も含め体育教師の講習、実技研修は十分なのか、緊急時の対応はどうか伺う。

答弁 市内3校の体育教員については昨年から複数回の研修を重ねてきました。今年度は滝川柔道連盟から講師を招き、安全管理のポイント、事故防止の事前の備え、応急手当の方法と併せて実技も行われました。また、必要であれば更に研修の場を持つことを考えています。複数体制の指導については授業全てに柔道連盟の3段以上の有資格者の派遣を受け、必ず教員とともに授業を行い、万一の事故の場合は、指導者の連携、保護者への連絡を確立し、頭部損傷等の事故を考慮し救急車の要請をためらわない体制とします。

庁舎の地震対策について

質問 庁舎には図書館も開館し、より多くの人たちが来庁するが、地震対策で避難誘導を含め訓練等の検討はされているのか伺う。

答弁 市庁舎防火・防災管理規程を定め、消火・誘導・救護班等の役割を明確化し訓練を実施しています。在庁者を迅速に安全な場所に避難誘導し適切な救護措置ができるよう、日常の訓練等を通して万全を期してまいります。



日本共産党
清水 雅人
議員

指定管理と官製ワーキングプアについて

質問 指定管理者による労働基準法遵守など総務省の指摘で課題は。

答弁 8点の指摘項目について特に課題となるものではありません。

質問 公民館の管理人は、運営委員長と雇用関係にあるのに、有給休暇がない。また経理・総務業務等は合計年間5万円以内に抑えられている実態は、労働基準法違反であり改善すべきである。

答弁 8点の指摘項目について再度周知を図るとともに、指定管理業務の点検を行う中で必要な指導をしていきたいと考えています。

緑寿園・すずかけなど入所施設の防災対策について

質問 給食を提供する高齢者入所施設では食中毒や栄養面などで災害停電時などでも安心して給食を供給できるように非常用発電機の設置が必要ではないか。

答弁 安定した施設運営を行う上で電力の確保は不可欠であり、導入等について指定管理者と十分協議してまいります。

固定資産税（共有名義）の連帯納税義務者への徴収について

質問 1億6千万円とも言われる滞納で連帯納税義務者に督促もせずに不納欠損したことは適正ではないのではないかと。

答弁 連帯納税義務の追及、執行は、個々の滞納者の状況も踏まえた上で判断をしています。あらゆる徴収手法をこれまで以上に積極的に活用して、税収の確保と公平性の確保に向けて取り組みます。

前市長時代の不祥事の調査が十分ではないか

質問 2億3、880万円の多額の生活保護費が世帯外に流れ出ていたことは重大である。刑罰を終えた後には返還請求すべき。

答弁 本人に対して民事上請求が認められた金額は判決日から10年の請求権が確定しています。出所後は積極的に損害賠償手続を進めます。

決算審査特別委員会を設置

本定例会では、2つの特別委員会を設置して平成23年度決算の審査を行いました。

第1決算審査特別委員会

第1決算審査特別委員会では、議会、総務、民生、衛生、労働、商工、農林業、土木、消防、教育費等の各費目の歳入・歳出の審査を行いました。委員名簿、主な質疑は次のとおりです。

委員長 小野 保之
副委員長 堀 重雄
委員 清水 雅人

木下八重子 山本 正信

山口 清悦 田村 勇

井上 正雄 大谷久美子

■堀 重雄 副委員長

1 道路整備の強化について

2 橋梁維持の強化について

■清水雅人 委員

1 就学援助へのPTA会費、クラブ活動費など3項目追加検討について

2 緊急雇用創出推進事業の効果と終了後の継続雇用について

3 住宅リフォーム助成と建設業許可業者要件の必要性について

■木下八重子委員

1 中心市街地街なか地域文化交

流広場事業「く・る・る」について

2 新生園・更生園の指定管理について

3 住民に光を注ぐ交付金について

■山本正信 委員

1 丸加高原応援団補助金について

2 丸加高原再生協議会との関連について

■山口清悦 委員

1 地域限定一般競争入札など入札制度について

2 スポーツ合宿受入れの他市比較と補助金増額など改善について

3 スポーツ施設の改善について

■田村 勇 委員

1 空知太墓地利用者の北泉岳寺の水道・トイレ使用について

2 固定資産税連帯納税義務者への所有比率ごとの告知について

3 コミュニティ施設休館日以外の施錠など実態について

■井上正雄 委員

1 市民税1%事業予算の活用状況と改善策について

2 道営土地改良事業予算減の影響について

3 リフォーム・太陽光発電助成について

■大谷久美子委員

1 民生委員の活動と経費について

2 菜種生産と加工品の販売促進について

3 奨学金制度の復活について

※第1決算審査特別委員会の質疑延べ100名 質疑件数235件

■第2決算審査特別委員会

第2決算審査特別委員会では、国民健康保険、公営住宅事業、介護保険、後期高齢者医療の特別会計4件と下水道事業、病院事業の公営企業会計2件の審査を行いました。委員名簿、主な質疑は次のとおりです。

委員長 窪之内 美知代
副委員長 坂井 英明
委員 渡辺 精郎

水口 典一 渡邊 龍之

三上 裕久 関藤 龍也

柴田 文男 荒木 文一

■坂井英明 副委員長

1 先発薬とジェネリック医薬品について

2 土目における入院費用の支払について

3 医薬品の市販後調査について

■渡辺精郎 委員

1 公営住宅使用料の滞納繰越について

2 下水道管きよ工事の状況について

3 国保税収納率向上特別対策事業の費用対効果について

4 要介護認定者数について

■渡邊龍之 委員

1 高等看護学院における経費について

2 介護保険特別会計における歳入の状況について

■三上裕久 委員

1 公営住宅駐車場の利用実態と管理について

2 入院患者数の比較と新病院の効果について

3 特定健康診査の受診対策について

4 介護認定審査会について

■関藤龍也 委員

1 研修医に対する手当等について

2 出産育児一時金について

■柴田文男 委員

1 診療記録等の開示件数について

■荒木文一 委員

1 歳出における消費的経費節減について

2 新病院の外来患者数について

3 見晴デイサービス利用者について

4 施設介護サービス事業費について

※第2決算審査特別委員会の質疑延べ27名 質疑件数49件

総務文教常任委員会だより

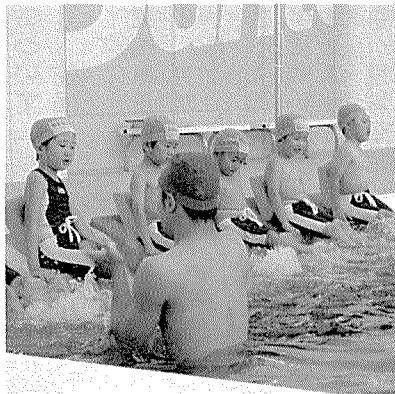
温水プールを

民間へ無償譲渡

滝川市温水プールは昭和60年に国庫補助金の交付を受けて開設し、多くの市民に利用されてきましたが、市の財政負担が重く、施設の老朽化も進んでいることから、新滝川市活力再生プランでは、民間に委託する方針が示され、4回にわたる総務文教常任委員会への報告後、臨時市議会において無償譲渡を可決しました（有償の場合は補助金の返還が必要となる）。経過としては6回の選定会議の中で公募、現地説明会、申請者プレゼンテーション及びヒアリング等により「株式会社滝川スポーツクラブ」に決定しました。公設プールとしての役割を残すため、市の補助金により、3コースを市民コースとして確保しており、学校のプール授業にも利用できます。今後15年間、市が運営管理を行った場合の2分の1の費用で温水プールが継続できると試算しています。

8月30日には市の理事者・議員をはじめ多くの関係者が出席し落成式が行われました。

既存のプールを含む館内はリニューアルされ、新たに設置されたトレーニングジム、ダンススタジオ等、素晴らしい施設となりました。浴室やサウナも設置され、プールばかりでなく、多面的な利用が可能となりました。市民の皆様には喜ばれる施設となることを願っています。是非一度見学されてみてはいかがでしょうか。



▲滝川スポーツクラブ「サンテ」

滝川市教育支援センター開設 空知教育センター移転

平成21年3月に道立滝川高等技

術専門学院が閉校したことに伴い、跡地利用について検討してきました。

当該地区が文教地区ということとを考慮し、市の教育が抱える課題を解決するために、旧道立高等技術専門学院跡地の有効活用を決定しました。國學院大學北海道短期大学部と隣接し、教育連携しやすい環境である立地条件を生かし、教育委員会の掲げる課題①空知教育センターの移転②適応指導教室の移転③本町体育館の機能移転④空知川ソフトボール場の移転等を考慮した活用方針を決定しました。

空知教育センターは、昭和43年に空知管内全市町村が共同で行う教職員研修、調査研究機関として設置以来43年の歴史を刻み、教職員の資質向上に大きな役割を果たしてきました。施設の老朽化・耐震化、センターのあり方等を検討し、教職員の指導力の向上、研修の充実を図るため移転を決定しました。

学校適応指導教室を移転

不登校については、未然防止、早期対応、早期発見、一人ひとりの状態や状況に応じた支援が必要

です。ホームグラウンド化することで児童・生徒が登校しやすくなることや、相談室を設け、個に応じた指導や、保護者を交えた指導が可能となります。

また、施設内体育館や和室、会議室、屋外等を利用することで、学習環境が拡充されます。

本町体育館の機能を移転

勤労青少年ホーム廃止後も本町体育館として継続する方針でしたが、耐震化など改修工事費が予想をはるかに上回ることから、高等技術専門学院跡地利用が有効と考え、機能を移転したいとするものです。ミニバレー2面、バレーボール1面、バスケットボール1面、バトミントン2面、テニス1面、卓球3台の利用が可能です。

ソフトボール場を移転

ソフトボール競技の公式ルールの変更や、雪捨て場の関係から、移転を決定したもので、来年春には2面のソフトボール場が完成予定です。

教育支援センターは、8月21日に空知管内の理事者・教育長、市の関係、来賓等の出席の下オープンしました。

平成24年第3回滝川市議会定例会議決結果

●平成24年度補正予算

◎	平成24年度滝川市一般会計補正予算(第4号)
◎	平成24年度滝川市介護保険特別会計補正予算(第2号)

●条例

◎	滝川市子ども発達支援センター条例の一部を改正する条例
◎	滝川市防災会議条例及び滝川市災害対策本部条例の一部を改正する条例

●決算認定

☐	平成23年度滝川市一般会計歳入歳出決算の認定について
☐	平成23年度滝川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
☐	平成23年度滝川市公営住宅事業特別会計歳入歳出決算の認定について
☐	平成23年度滝川市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
☐	平成23年度滝川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
☐	平成23年度滝川市下水道事業会計決算の認定について
☐	平成23年度滝川市病院事業会計決算の認定について

●意見書

◎	道教委「新たな高校教育に関する指針」の見直しと地域や子どもの実態に応じた高校づくりの実現を求める要望意見書
◎	義務教育費国庫負担制度堅持、負担率2分の1への復元、「30人以下学級」の実現をめざす教職員定数改善、就学保障充実など2013年度国家予算編成における教育費予算確保・拡充に向けた要望意見書
◎	自治体における防災・減災のための事業に対する国の財政支援を求める要望意見書
◎	「脱法ドラッグ」とりわけ「脱法ハーブ」に対する早急な規制強化等を求める要望意見書
◎	中小企業の成長支援策の拡充を求める要望意見書

●その他

◎	決算審査特別委員会の設置について
★	決算審査特別委員会の委員並びに委員長及び副委員長の選任について
☆	平成23年度滝川市病院事業会計継続費の精算について
☆	平成23年度決算に係る健全化判断比率について
☆	平成23年度決算に係る資金不足比率について
☆	専決処分について(損害賠償額の決定)
☆	専決処分について(損害賠償額の決定)
☆	専決処分について(損害賠償額の決定)
☆	専決処分について(工事請負契約の変更)
☆	専決処分について(工事請負契約の変更)
☆	専決処分について(調停の申立て等)
☆	株式会社滝川振興公社の経営状況について
☆	株式会社滝川グリーンズの経営状況について
☆	監査報告について
☆	例月現金出納検査報告について
○	電子情報処理組織による戸籍等事務に関する事務の受託について(芦別市) 〈賛成16名・反対1名 清水〉
○	電子情報処理組織による戸籍等事務に関する事務の受託について(赤平市) 〈 " 〉
○	電子情報処理組織による戸籍等事務に関する事務の受託について(砂川市) 〈 " 〉
○	電子情報処理組織による戸籍等事務に関する事務の受託について(歌志内市) 〈 " 〉
○	電子情報処理組織による戸籍等事務に関する事務の受託について(奈井江町) 〈 " 〉
○	電子情報処理組織による戸籍等事務に関する事務の受託について(上砂川町) 〈 " 〉
○	電子情報処理組織による戸籍等事務に関する事務の受託について(浦臼町) 〈 " 〉
○	電子情報処理組織による戸籍等事務に関する事務の受託について(新十津川町) 〈 " 〉
○	電子情報処理組織による戸籍等事務に関する事務の受託について(雨竜町) 〈 " 〉
◎	中空知衛生施設組合規約の変更について
◎	石狩川流域下水道組合規約の変更について

◎全会一致可決 ○賛成多数可決 □認定 ★選任 ☆報告済

※議決結果の概要については、滝川市公式ホームページ内の市議会のページでもご覧いただけます。

この市議会だよりは再生紙を使用しています。

議会目録 (平成24年7月1日～平成24年8月31日)

7. 1	市政功労者等慰霊式及び市政功労者表彰式が挙 行され、正副議長及び議会運営委員長並びに各常任 委員長が出席した。	7. 26	市した。
7. 2	第13回厚生常任委員会が開催され、議長が出席し た。	7. 26	福島県福島市議会「真政会」会派一行13名が空き 家等の適正管理に関する条例、心の教育推進プラ ンの調査のため来市した。
7. 2	東京都三鷹市議会「公明党」会派一行3名がそら ぶちキッズキャンプ事業の調査のため来市した。	7. 27	栃木県小山市議会「自民未来塾」会派一行8名が 菜の花によるまちづくり事業の調査のため来市し た。
7. 3	埼玉県越谷市議会「自由民主党市民クラブ」会派 一行8名が中心市街地活性化基本計画の調査のため 来市した。	7. 27	河西郡芽室町議会「経済常任委員会」一行9名が 中心市街地活性化基本計画の調査のため来市した。
7. 3	全国市議会議長会第128回地方財政委員会並びに全 国市議会議長会基地協議会第77回理事会に出席の ため、副議長が東京都に出張した。	7. 30	香川県高松市議会「公明党」会派所属議員1名が 空き家等の適正管理に関する条例の調査のため来 市した。
7. 4	愛知県岡崎市議会「自民清風会」会派一行5名が 未来を担うこどもの子育て・子育て環境づくりに 関する条例の調査のため来市した。	7. 30	全国市議会議長会基地協議会北海道部役員会に 出席のため、議長が恵庭市に出張した。
7. 4	静岡県三島市議会「緑水会」会派一行11名が未来 へつなぐ市民税1%事業の調査のため来市した。	7. 31	熊本県八代市議会「経済企業常任委員会」一行10 名が市立病院経営の調査のため来市した。
7. 5	福島県本宮市議会「生活福祉常任委員会」一行8 名が介護予防事業の調査のため来市した。	7. 31	千葉県八街市議会「誠和会」会派一行10名が菜の 花によるまちづくり事業、未来へつなぐ市民税1% 事業の調査のため来市した。
7. 5	福島県耶麻郡猪苗代町議会「経済建設常任委員会」 一行7名が道の駅たきかわの運営について調査の ため来市した。	8. 1	福島県会津若松市議会「諸派連合」所属議員2名が 地域街なか交流広場事業の調査のため来市した。
7. 5	滝川建設協会創立50周年記念式典が挙行され、議 長が出席した。	8. 1	広域行政圏市議会協議会正副会長・監事・相談役 会議に出席のため、議長が東京都に出張した。
7. 6	第22回中空知ふるさと市町村圏議員交流会が赤平 市において開催され、正副議長をはじめ議員16名 が出席した。	8. 2	東京都足立区議会「公明党」会派一行4名が心の 教育推進プランの調査のため来市した。
7. 6	岩手県八幡平市議会「新生会」会派一行4名が議 会改革の調査のため来市した。	8. 6	愛知県豊川市議会「自民党豊川市議団」会派一行 4名が土地開発公社の解散に至る経緯についての 調査のため来市した。
7. 10	茨城県土浦市議会「環境経済委員会」一行7名が リサイクリーンの調査のため来市した。	8. 9	宮城県柴田郡柴田町議会「文教厚生常任委員会」 一行6名がこどもセンター「め・も・る」の調査 のため来市した。
7. 11	青森県三沢市議会「市民クラブ」会派一行5名が リサイクリーンの調査のため来市した。	8. 10	長野県松本市議会「教育民生委員会」一行11名が こども発達支援センターの調査のため来市した。
7. 11	宮城県宮城郡松島町議会「第2常任委員会」一行 11名が未来を担うこどもの子育て・子育て環境づ くりに関する条例の調査のため来市した。	8. 15	第28回滝川市平和祈念市民の集いが開催され、議 長をはじめ11名の議員が出席した。
7. 17	静岡県磐田市議会「創志会」会派一行7名が菜の 花によるまちづくり事業、未来へつなぐ市民税1% 事業の調査のため来市した。	8. 21	滝川市教育支援センター開館並びに空知教育セン ター移転オープニングセレモニーが挙行され、正 副議長をはじめ15名の議員が出席した。
7. 18	栃木県矢板市議会「経済建設文教常任委員会」一 行10名がエコ・コンパクトシティの取り組みにつ いての調査のため来市した。	8. 23	第14回経済建設常任委員会が開催され、議長が出 席した。
7. 18	愛知県一宮市議会「いちのみや民主クラブ」会派 一行2名が菜の花によるまちづくり事業の調査の ため来市した。	8. 23	第17回総務文教常任委員会が開催された。
7. 18	沖縄県名護市との「大規模災害時における友好親 善都市間の相互応援協定調印式」が本市において 挙行され、正副議長が出席した。	8. 24	第21回議会運営委員会が開催され、正副議長が出 席した。
7. 19	栃木県栃木市議会「新生会・公明党議員会・新誠 会」会派一行4名が議会活動、市立病院経営の調 査のため来市した。	8. 24	北海道市議会議長会道央支部協議会議員研修会が 岩見沢市において開催され、正副議長をはじめ16 名の議員が出席した。
7. 20	岩手県八幡平市議会「緑松会・自由クラブ・無会 派」会派一行7名がそらぶちキッズキャンプ事業 の調査のため来市した。	8. 26	第47回消防顕彰祭が挙行され、議長が出席した。
7. 25	東京都墨田区議会「自由民主党」会派一行13名が 空き家等の適正管理に関する条例の調査のため来	8. 27	第14回厚生常任委員会が開催され、議長が出席し た。
		8. 28	平成24年産農作物生育状況調査が行われ、議長ほ か経済建設常任委員会委員等6名が参加した。
		8. 29	第15回経済建設常任委員会が開催され、議長が出 席した。
		8. 30	愛知県春日井市議会「自由クラブ」会派一行8名 が心の教育推進プランの調査のため来市した。
		8. 31	第22回議会運営委員会が開催され、正副議長が出 席した。

発行責任者 滝川市議会議長
水口典一

委員長 窪之内 美知代
副委員長 三上 裕久
委員 清水 雅人

編集後記
今、議会において新しい風を感じ取ることができました。一般質問に3日間延べ170名の市民が傍聴されたからです。議会、行政に対する関心の深さが如実に表れたものと確信したところです。
今後とも傍聴をお願いします。
滝川市議会だより編集委員会

傍聴してみませんか

平成24年第4回滝川市議会定例会の開催予定日をお知らせします。

日程

12月10日(月) 本会議
12月11日(火) 本会議
12月17日(月) 本会議 一般質問
12月18日(火) 本会議 一般質問
12月19日(水) 本会議 一般質問等

開催日は、変更する場合がありますので、傍聴の際は日程を確認して下さい。

問い合わせ 議会事務局 ☎28-8048